

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成30年8月23日 (2018.8.23)

【公表番号】特表2018-515970(P2018-515970A)

【公表日】平成30年6月14日 (2018.6.14)

【年通号数】公開・登録公報2018-022

【出願番号】特願2017-552883(P2017-552883)

【国際特許分類】

H 0 4 W 24/10 (2009.01)

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 24/10

H 0 4 W 72/04 1 3 6

【手続補正書】

【提出日】平成30年7月11日 (2018.7.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

機械タイプ通信 (MTC) を支援する無線接続システムにおいて MTC 端末がサウンディング参照信号 (SSS) 送信を制御する方法であって、

送信される SSS に関する情報を含む上位層信号を受信するステップと、

前記 SSS に関する情報に基づいて前記 SSS を構成するステップと、

n 番目のサブフレームと (n+1) 番目のサブフレームの間、物理上りリンク共有チャネル (PUSCH) を反復送信するステップと、

SSS 送信のための SSS サブバンドが前記周波数ホップされたサブバンドと同じ時、前記 SSS を、前記 PUSCH が前記 n 番目のサブフレーム又は前記 (n+1) 番目のサブフレームに割り当てられ、周波数ホップされたサブバンドで送信するステップと、

前記 SSS サブバンドが前記周波数ホップされたサブバンドと異なる時、前記 SSS をドロップするステップと、を含み、

前記サブバンドは 6 個の物理リソースブロック (PRB) から構成される、SSS 送信制御方法。

【請求項 2】

前記上位層信号は、前記 SSS が送信される前記 SSS サブバンドを示すサブバンド情報をさらに含む、請求項 1 に記載の SSS 送信制御方法。

【請求項 3】

前記 SSS は 1 個の PRB 単位で順次送信される、請求項 1 に記載の SSS 送信制御方法。

【請求項 4】

前記 SSS は前記サブバンドで所定回数反復送信される、請求項 1 に記載の SSS 送信制御方法。

【請求項 5】

前記 SSS は周期的に送信され、前記 MTC 端末は SSS 送信期間が 1 ms とならないように設定されている、請求項 1 に記載の SSS 送信制御方法。

【請求項 6】

機械タイプ通信 (MTC) を支援する無線接続システムにおいてサウンディング参照信号 (SRSS) 送信を制御する MTC 端末であって、

送信器と、

受信器と、

前記 SRSS 送信を制御するためのプロセッサと、

を備え、

前記プロセッサは、

送信される SRSS に関する情報を含む上位層信号を、前記受信器を制御して受信し、

前記 SRSS に関する情報に基づいて前記 SRSS を構成し、

n 番目のサブフレームと (n+1) 番目のサブフレームの間、物理上りリンク共有チャネル (PUSCH) を反復送信し、

SRSS 送信のための SRSS サブバンドが周波数ホップされたサブバンドと同じ時、前記 PUSCH が前記 n 番目のサブフレーム又は前記 (n+1) 番目のサブフレームに割り当てられ、周波数ホップされたサブバンドで前記 SRSS を送信し、

前記 SRSS サブバンドが前記周波数ホップされるサブバンドと異なる時、前記送信器を制御して前記 SRSS をドロップするように構成され、

前記サブバンドは 6 個の物理リソースブロック (PRB) で構成される、MTC 端末。

【請求項 7】

前記上位層信号は、前記 SRSS が送信される前記 SRSS サブバンドを示すサブバンド情報をさらに含む、請求項 6 に記載の MTC 端末。

【請求項 8】

前記 SRSS は 1 個の PRB 単位で順次送信される、請求項 6 に記載の MTC 端末。

【請求項 9】

前記 SRSS は前記サブバンドで所定回数反復送信される、請求項 6 に記載の MTC 端末。

。

【請求項 10】

前記 SRSS は周期的に送信され、前記 MTC 端末は SRSS 送信期間が 1 ms とならないように設定されている、請求項 6 に記載の MTC 端末。